

「今、なぜロースクールで学ぶのか ☆列島縦断リレー☆法科大学院がわかる会」

シンポジウム「医療と法（医事法）を学ぶことと法曹の役割」

主催：法科大学院協会／共催：日本弁護士連合会

後援：最高裁判所、法務省、文部科学省、適性試験管理委員会
協力校・早稲田大学法科大学院

1 日程

平成26年（2014年）12月8日10時40分～12時10分

2 会場

早稲田大学8号館106教室

3 シンポジウム「医療と法（医事法）を学ぶことと法曹の役割」

(1) 主催者挨拶 法科大学院協会事務局次長・古谷修一教授（早稲田大学法科大学院）

(2) 企画趣旨説明 早稲田大学法科大学院長・甲斐克則教授

報告

★「医事法の実践と教育の経験からみた法曹の役割」

鈴木利廣弁護士（すずかけ法律事務所・明治大学法科大学院教授）

＊薬害エイズ事件・薬害肝炎事件等、30年以上にわたり弁護士として活躍

★「若手弁護士として医療問題に取り組む」

加藤和子弁護士（井上清成法律事務所）

＊早稲田大学法科大学院で医事法を学び、弁護士としてスタート

★「医事法に魅せられて～法科大学院における学修と今後のキャリア」

池邊瑞和氏（早稲田大学法科大学院3年生）

＊早稲田大学法学部と法科大学院で医事法を学ぶ

(3) 質疑応答

＊フロアーからの質問を受け付けます

(4) 総括

早稲田大学法科大学院長・甲斐克則教授

(5) 閉会の辞 法科大学院協会事務局次長・古谷修一教授（早稲田大学法科大学院）